

2006年10月21日

13時半～16時

東金ふれあいセンター

出席者（敬称略）：藤本、大野、山尾、田村、秋山

前半（13時半～14時すぎ）

- 「自治体病院経営の問題点」長隆先生の資料をもとにディスカッション

後半（14時すぎ～16時

- 大網での認知症の取り組みについて（議題提案 山尾さん）

- ・ 山尾さんより、大網での認知症の取り組みについて、問題定義がありました。ポイントは以下の通り。

<問題定義>

- 認知症への取り組みは、行政と市民が一緒になってやるべきであるとする。これを実践する「認知症サポーター」を提案している。これは、区長会会長、自治会長、民生委員協議会・児童委員、介護者の会等の当事者組織、町認知症ネット委員会、支部社協役員、関連福祉施設、町老連役員・各単老会長、その他、が参加するものである。
  - 大網白里町には既に「認知症にやさしい地域づくりネットワーク運営委員会」が1年前から設置されている。これは、警察、商工会など職域で構成されている。これについて町が集めやすいYesマンを集めたことを懸念している。大網は6割が新住民。その意向を大事にする必要あると言いながら、委員会のメンバーは8割以上が旧住民。お年寄り、老人クラブが入っていない 当事者が不足している。一番は区長会だろうが、(大網内98の区長)誰も選ばれていない。
  - 町は、我々が提案しても批判されていると思って嫌がるようだ。どうやったらうまくやっっていけるだろうか？
- ・ その後、意見交換をしました。主な内容は以下の通り。

## <ディスカッション>

- ・ 本来は「社協」が、認知症の住民参加の取組みについて音頭をとり、中心的な役割を果たすべきだろう。行政は今までの仕事の枠を超えた取組みはなかなかできない。
- ・ 大網町の「まちづくり」の住民組織の中でやりたいが、「福祉の会」には人材が不足している。
- ・ 大事なのは役割分担をして連携すること。
- ・ 方法論の違いはあっても皆が共有できる到達点はある。普遍的に変わらない求めるものがあるはず。
- ・ 町との共通の到達点はあるが、町は、予算や人が不足しており、従来踏襲型なので、今まで通りのことしかできない。それを認めてやらないと話が進まないだろう。
- ・ 予算はないけど予算の捻出はこうしたらどうかと、こちらから方法を提案するのがよい。
- ・ 役所と住民とお互いの仕事や考え方を知らなさ過ぎる。我々住民も理解する必要がある。
- ・ 昔から行政サービスがあり、それが時代の変化で変わっている、その時代の変化についていけない。
- ・ ビジョンの共有が大事だということに共感する。行政、予算編成は決まっており、年度の途中で何か方針を変えることはできない。
- ・ お互いの仕事の内容を理解することが大事。例えば、町は16人のメンバーを選んだが、その手法に公募が入っていないなど、ノウハウを改善してほしいと訴える。
- ・ 社協がうまく絡むことで行政は動くということ、別の取組みで知った。
- ・ 社協に頼らず、やれる人間がやるというのがいいと思う。それを啓蒙させるほうがよいと思う。
- ・ 簡単にできる取組みがある。例えば、白紙の地図を用意して、災害など有事の際に各高齢者を誰を支えるかを記入するという仕組みをつくることができる。福祉は防災にもつながる。社協がそこまでやれば、民生委員も何をすればいいかわかる。
- ・ 行政は個人情報保護があるのでできないというだろう。住民が先事例をつくってみてはどうか。
- ・ 役所は仕事をしたくない理由に個人情報保護と言っている。例えば、10人中7人がOKだったらそれで始めればよいのではないか。
- ・ 地域住民が役割をうまく分担してやっていたら、児童の交通事故も防げたかもしれない。
- ・ 大網は町が新しいので、まだ出来上がっていない。でもキーマンができれば、うまくいくかもしれない。
- ・ そのためには情報発信が大事。クローバーも2万部印刷している。最初と違い区長さん達も待ってくれるようになった。
- ・ 鍵になって動いてくれる医師の役割は大きい。医師会としては難しいが、個人として動いてくれるとありがたい。

- ・ 問題は、役割の住み分けを決めるようなリーダーが行政にいないということ。
- ・ 霞ヶ関でも民間人が各省庁に出向しており、こうした人材の流動で、活性化している。安倍新首相の教育改革のメンバーに、ヤンキー先生や、ワタミの渡邊美樹さんなどおもしろいメンバーがいる。そういう発想で従来とやり方を変えることが大事。
- ・ 実際に大綱でも、地域を Happy にしようと、面白い取り組みをしている。まちづくりの中で様々な仕掛け人が集まり楽しくやっており、見習うことが多い。
- ・ 行政は、到達点を明確に示したほうがいい。そして、様々な意見の全てを言わせないと、この価値観の多様化した時代にわからない。
- ・ トップの情熱が大事。リーダーが、自分はこれをやるということを示すべき。

以上